

## 第 65 回 番組審議会議事録

1 開催年月日：令和 1 年 9 月 15 日

2 開催場所：ビナレッジ 202 号室

3 委員の出席

委員総数： 7 名

出席委員数： 4 名

出席委員の氏名： 加藤 恵子 委員  
原 克利 委員（委任状 提出）  
店網 裕子 委員  
武井 健寿 委員

欠席委員の氏名： 小林 薫 委員  
飯島 辰子 委員  
鈴木 義信 委員

放送事業者側出席者名：天野 哲也

4 議題：

生放送番組の内容及び放送に関する気になる項目について

5 議事の概要：

- ・緊急放送について
- ・新パーソナリティについて

6 審議内容：（各委員の発言及び放送事業者側の説明又は回答をできるだけ詳細に記載すること。）

委員より「新しいパーソナリティが入っているがまだまだたどたどしくあるが研修不足とは無いか？」との問いに対して、局側は「2ヶ月間のアナウンス講座と、講座終了後の1ヶ月間の本番研修を行っているので力不足はないと考えます。独り立ちしたばかりで緊張が抜けていないと考えてこれから精進して頂ければと思っています。」と回答した。

委員より「台風の災害情報は体制終了などの内容はわかったが、その翌日の混乱を伝えるべきパーソナリティが緊迫感が無くのんびりと話し過ぎと感じた。駅の混雑具合などしっかり緊迫感が欲しかった。」との問いに関し、局側は「むやみな混乱を避けようとしたため、ゆっくり情報を読み上げたが、それが返ってのんきに話す感じに聞こえてしまいました。緊迫感と性急は違うので声の出し方等を工夫していきたいと思います。今後注意いたします。」と回答した。

委員より「ペイペイ等の電子マネーのやり方など、新しい電子マネーが次々と出てきてい

るので追いつけない。何かまとめる番組とかできないだろうか？」との問いに関して、局側は「権利関係などが複雑にあり許可を取ってからでないといけないのでそのあたりの為に時間が掛かっています。なお、放送後に消滅してしまうと虚偽にもなりますのでなかなか難しい所です。」と回答た。

委員より「地域の情報イベント等は偏りがある気がする。」と質問があった。局側より「行政情報は広報で確認していますが、それ以外の情報に関しましては各行政の情報発信力に繋がってきますので、その差はどうしても出てきてしまいます。局と行政などの連携を確認していきたいと思います。」と回答した。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日：(答申又は改善意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。)

・

・11月4日：月曜日のパーソナリティに番組審議会で話されたことを口頭で伝え、指導に当たる。緊迫感をもって災害時の放送に向かう様に指導した。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表：

・公表の方法：事務所への備置き

HP 掲載は、10月8日

・公表の内容：出席と欠席の委員名

議題

審議内容（委員名削除）

・公表年月日：19年10月8日

事務所に公開設置

HP 掲載及び社内掲示

FM カオン番組審議会報告番組 10月27日 5：00～5分間

9 その他の参考事項：

特になし

社名	海老名エフエム放送株式会社
----	---------------